

令和2年 3月25日

1、本園の教育目標並びに保育の重点

<教育目標> ・意志の強い実行力のある子ども ・健康で明るい素直な子ども ・心が豊かでのびのびと表現のできる子ども <保育の重点> ・大勢の子どもたちの中から、気の合う友だちを見つけ、遊びを楽しむ。 ・異年齢の子どもたちとふれ合いの中で、優しい気持ちや思いやりの気持ちを育む。 ・様々な子どもたちとふれ合うことでトラブルもあるが、こうしたふれ合いの中で人とのかわり方をたくさん学んでいく。 ・様々な場で、思いの伝え合いを楽しむ。 ・お互い刺激し合いながら、いろいろなことに挑戦する。
--

2、本年度定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

・楽しい雰囲気の中で、安定した遊びこめる環境構成をしている。 ・友だちとの関わりから、一緒に考えたり工夫したりする姿を見守る。
--

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
(1) イメージを膨らませて夢中で遊び、思いを実現するための援助と環境構成をする。	B	“子どもが主体的に遊ぶためには”を念頭に置いたミーティングを毎週行うことで、多方面からの援助や環境構成の工夫を行えた。教師の願いが先導してしまう場面もあったが、ミーティングで軌道修正することもできていた。
(2) 幼児の姿を記録して教師間で話し合い、幼児理解や遊びの理解に努め、資質向上を図る。	A	保育記録の話し合いを行い、複数人で評価・改善を行うとともに、保育を語る場を普段から設け、平日頃から保育力の研鑽を重ねている。
(3) 幼児にふさわしい生活リズムを整えるための家庭との連携の在り方を工夫する。	A	新しく設置した掲示板を利用し、園児に視覚感覚で伝えるよう工夫した。その様子を保健だよりで伝えるようにした。その他にも、家庭との連携が必要なことが多いので、園だよりや保健だより等で情報提供に努めた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	自主性を育てるために自ら考えたり工夫したりする姿を見守り、援助と環境構成を考え、丁寧な保育に努めている。

5、今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別な配慮を必要とする園児の、行事への取り組み	個別の特性の把握に努めるとともに、行事の在り方を、担任だけでなく園全体で話し合っていくようにする。
延長保育時間の改新	預かり保育にとどまらず、教育時間の延長としてとらえ、活動内容を様々取り入れていく。

6、学校関係者評価委員会の評価

評価	氏名	印	評価	氏名	印
A	...		A	...	
A	...		A	...	
A	...		A	...	

7、設置者の評価

評価	氏名	印	コメント
A	天笠 善照		年度末に新型コロナウイルス感染症の影響があり、健康管理に努力した。

評価結果の表示方法
 A：たいへんよい
 B：よい
 C：一部検討を要する
 D：改善を要する